

2024年度 日本肝臓学会主催 第2回肝疾患診療連携拠点病院研修会 開催報告

開催日時 2025年3月8日(土) 14:00~16:00

司会 柘植 雅貴 (広島大学病院 肝疾患センター 教授/肝疾患相談室 室長)

【第1部】広島県肝疾患診療連携拠点病院年度報告

藪下 和久 (福島市民病院 医療技術部次長 内科科長)

村上 英介 (広島大学病院 消化器内科 講師)

広島県における肝疾患対策の最新状況

井居 萌 (広島県健康福祉局薬務課 肝炎対策グループ)

【第2部】肝癌診療における地域連携

「肝癌における最新の薬物療法」

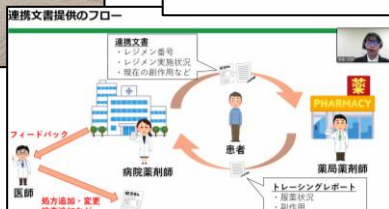
講師：河岡 友和 (広島大学病院 消化器内科 診療准教授)

「病院薬剤師が考える肝癌治療継続の鍵」

講師：吉岡 寛美 (広島大学病院 薬剤部 薬剤師)

「肝癌診療における保険薬局薬剤師による患者フォローアップ」

講師：岡水 涼 (一般財団法人緑風会 緑風会薬局 薬剤師)



講義内容について



「肝癌における最新の薬物療法」

肝細胞癌、管内胆管癌の薬物療法について、論文データやイラストを交えわかりやすく解説して頂きました。治療にあたり、多職種連携の重要性を強調されていた点が印象的でした。受講者から多くの質問が寄せられ、薬物療法と共に実施するカテーテル治療への疑問や薬剤の効果比較について等尋ねておられました。

連携

「病院薬剤師が考える肝がん治療継続の鍵」

病院薬剤師の立場から、薬物療法における副作用やその対処方法を文献データに基づき解説いただきました。また、院内のirAEマニュアルについてもご紹介があり、受講者より、外部からそれらは閲覧できるのかという質問等が寄せられていました。

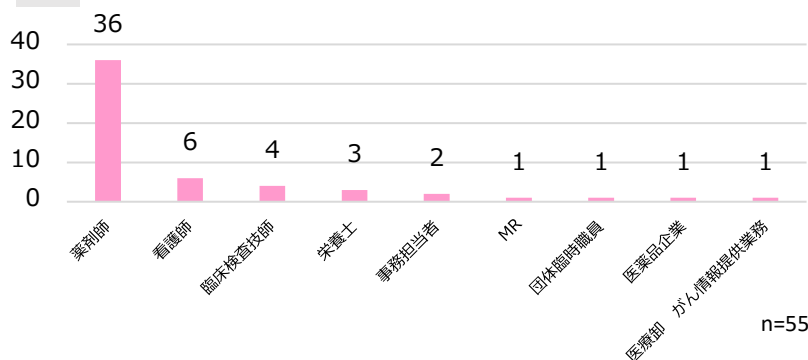
連携

「肝がん診療における保険薬局薬剤師による患者フォローアップ」

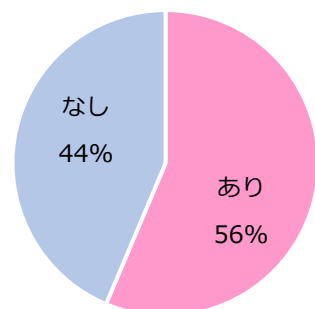
保険薬局薬剤師の立場から、病院との連携やテレフォンのフォローアップの有用性について症例やデータをもとにご講演頂きました。薬局薬剤師として期待されている役割についてや抗癌剤治療している患者さんのフォローのポイントについて教えて欲しいという質問等が寄せられました。



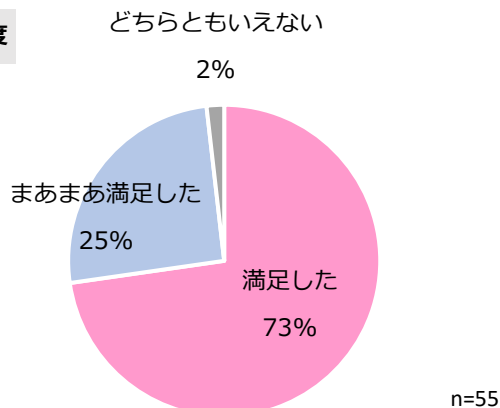
職種



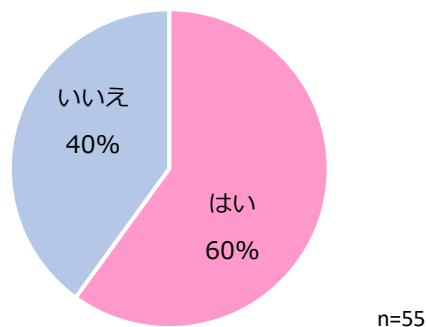
コーディネーター資格の有無



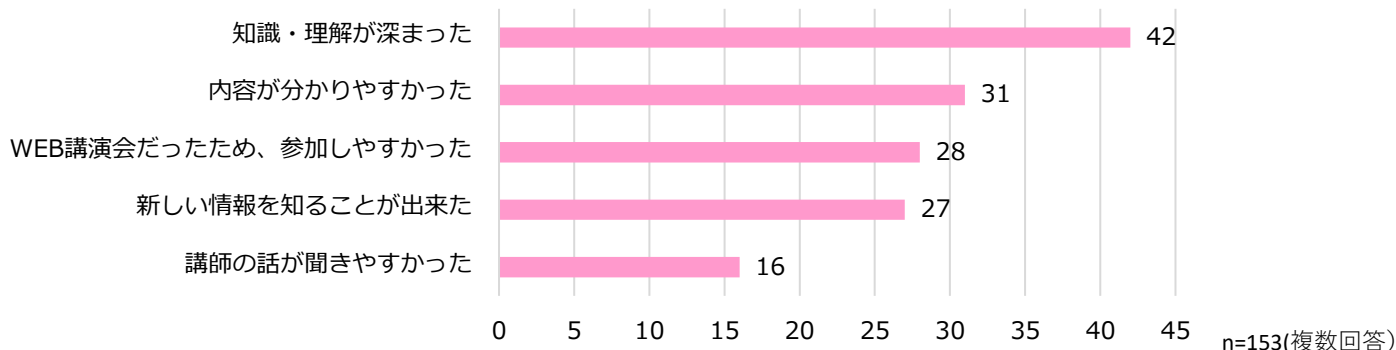
満足度



医療従事者研修会受講歴



満足度の理由



今回の研修会では、医師・薬剤師（病院、保険薬局）からご講演いただきました。最新の肝癌薬物療法を安全に実施するため、フォローアップの必要性を疫学データや論文データから説き、また医師や薬剤師がどのように連携を図っているのか具体的な事例を提示いただき、知見を広げるよい機会となった講演内容でした。

受講された方の職種として、薬物療法に関する講義内容だったことから半数以上が薬剤師の方で、全員が「まあまあ満足」「満足いく」と回答しました。また、自由回答として、「非常に参考となる講義内容でした」「肝癌薬物療法の整理ができました」と好評を頂くことができ、全員から次回もまた参加したいと回答が寄せられました。研修会へのご要望の中で、「資料の共有」や「意見交換の場」を望む声もあり、今後の研修会運営の参考にさせていただきます。

参加者の皆様、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

広島大学病院肝疾患相談室

